

コース名	難治性がん性疼痛に対する集学的アプローチ連携コース
コース責任者(大学名)	佐藤 信吾 (東京科学大学)
WG メンバー(大学名)	佐藤 信吾 (東京科学大学)、大畑 めぐみ (東京科学大学)、竹内 麻理 (慶應義塾大学)、伊原 奈帆 (慶應義塾大学)、高木 辰哉 (順天堂大学)、濱岡 早枝子 (順天堂大学)、橋本 和明 (国際医療福祉大学)、結束 貴臣 (国際医療福祉大学)、徳原 真 (東海大学)、野上 達也 (東海大学)、福田 健一 (東京歯科大学)、杉浦 宗敏 (東京薬科大学)
開講時期	2026 年度
受講方法	オンデマンド、実習(施設見学)
受講登録方法	オンデマンド講義の登録については、10 月 31 日までに下記の Forms から受講登録を行ってください。 https://forms.cloud.microsoft/r/m4vwFR9sSv?origin=prLink (オンデマンド講義の視聴期限は、2026 年 12 月 25 日とさせていただきます。) 実習(施設見学)については、必須ではありませんが、希望者は 10 月 31 日までに下記の Forms から受講登録を行ってください。 https://forms.cloud.microsoft/r/E24HZQDDwu?origin=prLink ➢ 実習は、講義履修完了者のみが対象となります。実習の期間は 1～2 日程度を想定しております。 ➢ 各施設とも実習の受け入れ人数に上限がありますので、実習を希望される方はお早めに受講登録を行ってください。受け入れ人数の上限に達した場合は、実習の受講登録を締め切らせていただきますので、予めご承知おきください。 ➢ 実習の日時は、実習を受ける施設の担当者との調整になります。実習施設の方で日時を指定させていただきますこともございます。希望通りの日時にならないこともありますことを、予めご承知おきください。
コースの概要、特色等	がん性疼痛は時に難治性で、薬物療法だけでは緩和が困難なこともあります。本コースは講義主体のコースで、難治性がん性疼痛やがんサバイバーの慢性痛を緩和するための、神経ブロック、放射線治療、IVR 治療、骨転移治療、心理療法、運動療法、漢方・鍼灸治療等の様々なアプローチに関する専門的知識やスキルを習得することができます。また、多施設・多職種が連携した研修内容となっており、多職種の役割を理解し、疼痛緩和治療における有機的なチームアプローチについても学ぶことができます。

授業計画

	授業題目	講師	講師所属
講義	1 がん性疼痛概論	河野 達郎	千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科
	2 がんサバイバーの痛み	橋口 さおり	聖マリアンナ医科大学 緩和医療学
	3 「神経ブロック」って どんなことをするんですか？	大畑 めぐみ	東京科学大学 緩和ケア科
	4 がん疼痛緩和に有用な神経ブロックの臨床と EBM	井関 雅子	順天堂大学 麻酔科学ペインクリニック講座
	がん疼痛緩和に対するくも膜下鎮痛法の進め方 (適応・手技・方法)	服部 政治	中部徳洲会病院 疼痛治療科
	5 やさしい放射線治療	桑原 宏文	草加市立病院 放射線科(治療)
	6 緩和医療としての IVR ～画像下治療～	荒井 保典	国立がん研究センター東病院 放射線診断科
	7 骨転移の診断と治療 ～がん患者が「最期まで動ける」ために～	佐藤 信吾	東京科学大学 緩和ケア科・整形外科
	8 認知行動療法を中心とした心理的ケア	長谷川 晃	国際医療福祉大学 心理学科

	9	慢性疼痛患者の心理的評価とアプローチ	水野 泰行	関西医科大学 心療内科学講座 関西医科大学附属病院 痛みセンター
	10	がん患者に対するリハビリテーション	宮田 知恵子	国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科
	11	漢方と鍼灸による緩和医療	新井 信 高土 将典	東海大学 漢方医学
	12	難治性がん性疼痛に対するチーム医療	濱岡 早枝子	順天堂大学 麻酔科学・ペインクリニック講座
		がん化学療法誘発性疼痛に対するチームアプローチ	飯村 洋平	東京大学医学部附属医科学研究所病院 薬剤部
実習		緩和ケアチーム / がん理学療法 / 骨転移カンサーボード	佐藤 信吾	東京科学大学
		がん疼痛リハビリテーション	理学療法スタッフ / 高木 辰哉	順天堂大学
		がん疼痛やサバイバーに対する神経ブロックやその他の治療の実際	ペインスタッフ / 濱岡 早枝子	順天堂大学
コース修了要件 全講義の 7 割以上(計 12 講義のうち 9 講義以上)を履修し、かつレポートを提出することが修了要件となります。実習は必須ではありません。 レポートは、「本コース受講によりどのように理解が深まったか、知識がついたか、さらに臨床や研究にどのように生かそうと考えているか」を課題として、600～800 字程度で記載してください。				
備考				
担当者連絡先 コース責任者: 佐藤 信吾 (東京科学大学) 東京科学大学 大学院教務第 1 グループ: grad01@ml.tmd.ac.jp				